

2014年(平成26年)1月6日(月曜日)

高松新聞

子ども50人 餅つき交流 高松・徳成寺

親子連れら約20人が、七草がゆづくりに挑戦し、1年「だか元気になれた気がする」と笑顔で話した。

杵を手に餅つきをする子どもら(高松市番町の徳成寺で)



高松市番町の徳成寺で5日、「新春もちつき会」が行われ、子どもたちの元気の良い掛け声が響いた。餅つきを通して地域の交流を深めようと、同寺が実施している。

参加した約50人の子どもたちは、大きな杵を抱え、石臼の中のもち米を力いっぱい叩いていた。その後、つきたての餅をあんこなどと一緒丸め、みんなでおぼった。

2人で餅をついた香川大

付属高松小4年、居塚汐音君(10)と国村彩梨さん(10)は「杵が重くて大変だったけど楽しかった。出来たての餅はすごくやわらかい」と笑顔だった。

読売新聞ご購読申し込み

フリーダイヤルでどうぞ
0120-4343-81
平日 9:00~21:00
土・日・祝 9:30~17:30
ザ・ジャパン・ニュースは
0120-4343-08へ
インターネットは
アドレス<http://434381.jp>